

<学校名> 八潮市立大原中学校
 <所在地> 八潮市八潮五丁目9番地1
 <電話> 048-996-1378
 <本事例の特徴>

八潮市内各校に配属されているALT 6名全員に授業に参加をしてもらい、各班のホストALTとして年間を通して生徒と交流をもってもらう。この活動の目的は『伝えたい』という気持ちを育て、学習に対する意欲を高めること、出身地が異なるALTとの触れ合いから同じ英語圏でも様々な文化があることを知ることである。そのためには一度きりの交流ではなく、もっと学習をしてより多くのことを『伝えよう』、『知ろう』と生徒が思うことが大事であり、その気持ちを高めるために年間を通して交流の機会を設けている。

<具体的な取組や成果>

- 自己紹介と好きなもの紹介【生徒】、出身国紹介と日本で興味があること紹介【ALT】
- 日本のお菓子紹介【生徒】、自国のお菓子紹介【ALT】
- 日本の学校行事紹介【生徒】、外国の祭り紹介【ALT】



お互いの自己紹介



授業風景



・アメリカ人だけでなくフランス人など色々な人と話せることがわかった。
 ・英語で話しをすることがとても楽しかった。
 ・自分の言いたい内容が伝わってすごく嬉しかった。
 ・一生懸命聴いてくれる人がいて頑張ってみようと思った。(生徒の感想より)



日本の夏休み紹介





- ・緊張したけど先生と会話できて楽しかったです。今度は外国に行ってたくさんの人と話したいです。
- ・外国の人と話せるのはすごく楽しいです。2回目なのでリラックスできました。
- ・英語が結構理解できて普通の授業が活きていると思った。
- ・日本のお菓子を知らせてもらえて良かったです。外国のお菓子も初めて食べました。
- ・わからないときは、目と目を合わせたり、ジェスチャーなどで伝わったりすることがわかった。

- ・交流することによって外国文化を知ることができ、また、日本の文化についても考えられるので、是非またやりたいです。
- ・英語がわからないと大変だけど、人との交流の仕方の勉強になるのでとてもよい。
- ・自分にもできるということがわかり自信がついた！
- ・外国に行かなくても学習できることがわかった。



○1年間の交流を通して英語力だけでなく、自国や他国の文化にも触れる貴重な機会であった。特にコミュニケーションの仕方について学ぶよい体験ができた。